

消費・貯蓄計画と将来予想

問1. 所得の見通しや計画をどの程度先までお持ちですか。(○は1つ)

1. 1年～3年未満	3. 5年～10年未満	5. 見通しや計画は特にもっていない
2. 3年～5年未満	4. 10年以上先まで	

問2. 将来1～3年先の物価動向、及びご自身・家計の将来所得に関する予想について、過去の状況との関連では、次のうちどれに近いですか。

それぞれ下記項目から当てはまる番号を一つずつお選び下さい。(それぞれ番号は1つ)

	回答欄(番号一つずつ記入)
(1) 1～3年先の物価動向の予想について	
(2) ご自身・家計の将来所得の予想について	
【選択項目】(下記項目の中から(1)(2)それぞれについて一つ選び回答欄に記入)	
1. 過去1年ぐらいの状況を見れば、だいたい見当がつく	
2. 過去3年ぐらいの状況を見れば、だいたい見当がつく	
3. 過去5年ぐらいの状況を見れば、だいたい見当がつく	
4. 雇用情勢・経済情勢などによって変動するので、将来についてはまったく見当がつかない	

問3. 将来の経済環境を予測する際、次の何によって影響を受けているとお考えですか。

(1) 日本の経済情勢や物価の見通し、(2)ご自身の将来所得、の2点について下記の選択肢から3つまでお選びください。1つ、あるいは2つだけの選択でも結構です。

(それぞれ番号は3つまで)

	回答欄(番号記入)		
(1) 日本の経済情勢や物価の見通しについて			
(2) ご自身の所得見通しについて			
【選択項目】(下記項目の中から(1)(2)それぞれについて選び回答欄に記入)			
1. 新聞記事	4. 過去のご自身のご経験		
2. テレビのニュース・解説番組	5. 家族・知人との会話・職場での会話		
3. 雑誌・本など	6. インターネットからの情報		

問4. 将来1～3年先の物価動向に関する予想についておうかがいします。現在の物価動向から予想するとすれば、どの分野の動きを参考にしますか。次のうちから3つまで選び印をお付けください。1つ、あるいは2つだけの選択でも結構です。(は3つまで)

1. 食料品	5. 医療費	9. 乗用車(新車)	13. 地価
2. 衣料品	6. 情報通信費	10. 国内旅行	
3. 住宅家賃・地代	7. 家電・オーディオ製品	11. 海外旅行	
4. 子供の教育費	8. パソコン・デジカメ	12. 株価	

問5. 次の商品(サービス)の購入にあたって、計画を立てたり検討を始めたたりするのは、実際の購入よりも平均してどの程度前になりますか。下記の選択肢からそれぞれ当てはまる番号一つをお選びください。

	回答欄(番号一つずつ記入)		
(1) 日用品(食料品、洗剤など)			
(2) 家事用家電製品(冷蔵庫、洗濯機など)			
(3) パソコン・AV・デジカメ等			
(4) 国内旅行			
(5) 海外旅行			
(6) 自動車(中古車を含む)			
【選択項目】(下記項目の中から(1)～(6)それぞれについて一つ選び回答欄に記入)			
1. 当日	3. 1週間～1カ月前	5. 3カ月～半年	7. 1年以上前
2. 1日～1週間前	4. 1～3カ月前	6. 半年～1年前	8. 特に計画は立てないことが多い

問6. (次の(1)～(6)の商品(サービス)について購入計画を立てられる方におうかがいします。) 計画上の予算と購入金額の関係は次のうちどれに近いですか。下記の選択肢の中からそれぞれに当てはまる番号一つをお選びください。

	回答欄(番号一つずつ記入)
(1) 日用品(食料品、洗剤など)	
(2) 家事用家電製品(冷蔵庫、洗濯機など)	
(3) パソコン・AV・デジカメ等	
(4) 国内旅行	
(5) 海外旅行	
(6) 自動車(中古車を含む)	
<b>【選択項目】</b> (下記項目の中から(1)～(6)それぞれについて一つ選び回答欄に記入) 1. だいたい計画どおり 2. 予算をオーバーすることが多い 3. 予算を余らせることが多い 4. 予算をオーバーするか余らせるかはその時によるが、計画通りでないことが多い 5. わからない	

問7. 以下(1)～(3)の政策ミックスについて、どのように思われますか。下記の1～5の選択肢のうち、近いもの2つまでお選びください。1つだけの選択でも結構です。(それぞれ番号は2つまで)

	回答欄(番号記入)	
(1) 銀行への公的資金の投入、一部銀行の国有化、経営責任の明確化を伴う不良債権処理の加速策。同時に、個人、法人に対する直接税減税を中心とした需要追加策と失業者対策の充実		
(2) 銀行の自己資本を毀損しない程度の緩やかな不良債権処理。同時に公共投資(建設関連、ハイテク関連の双方)の大幅追加。同時に信用保証制度の拡大など中小企業支援策の充実		
(3) インフレ目標を伴う金融の量的緩和。日銀によるベースマネー供給拡大、株式・投信・土地買取の拡大。これによってデフレからの脱却を最優先する。不良債権処理はデフレから脱却した後に考える		
<b>【選択項目】</b> (下記項目の中から(1)～(3)それぞれについて選び回答欄に記入) 1. 長い目で見ればご自身の所得にとってプラスに働くと思う 2. 長い目で見てもご自身の所得にはマイナスだと思う 3. 長い目で見れば物価が徐々上がるのではないかと思う 4. 長い目で見てもデフレ圧力が次第に強くなると思う 5. 上のいずれでもない、何とも言えない、わからない		

**あなたもしくは配偶者の方が50歳以上のお宅におうかがいします。**

問8. 家計全体の手取り所得と消費がどのように変わったか(変わっていくと予想されるか) 50歳時を100として、数字を記入してください。予想の場合、物価変動による影響は考慮しなくても結構です。

	手取り所得額	消費額
50歳	( 100 )	( 100 )
ご退職直前の1年	( )	( )
ご退職直後の1年	( )	( )

それぞれ( )内に数字をご記入下さい

消費・貯蓄の実際、生活実感など

生活実感や家計の消費・貯蓄についてお尋ねします。正確な数字をうかがっているわけではありませんので、あくまでも実感で教えてください。

**問9～問10は住宅ローンのある方におうかがいします。**

問9. 住宅ローンの負担感は1年前と比べて大きくなっていますか。(○は1つ)

- |                |               |                |
|----------------|---------------|----------------|
| 1. かなり大きくなっている | 3. 同じ程度である    | 5. かなり小さくなっている |
| 2. やや大きくなっている  | 4. やや小さくなっている | 6. わからない       |

問9-1. (問9で、「大きくなっている(1or2)」とお答えになった方におうかがいします。)それはなぜですか。以下の選択肢からあてはまることを要因の強い順に1位～3位まで順番をつけて番号でお答えください。1位あるいは2位までの回答でも結構です。

1位       2位       3位

- |                       |
|-----------------------|
| 1. 所得が低下しているから        |
| 2. 所得の見通しが悪化しているから    |
| 3. 不動産価格が低下しているから     |
| 4. 物価が下落する中で返済額が一定だから |
| 5. 何となく               |

問10.(問9で1or2又は4or5と回答した方<住宅ローンの負担感が変化した方>におうかがいします。)負担感が変化した結果、消費支出は影響を受けましたか。(○は1つ)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 消費支出には全く影響がない      | 5. 消費支出全般を増やすようになった   |
| 2. 消費支出全般を減らすようになった   | 6. 日常的な消費支出を増やすようになった |
| 3. 日常的な消費支出を減らすようになった | 7. レジャー支出などを増やすようになった |
| 4. レジャー支出などを減らすようになった |                       |

**ここから全員の方におうかがいします。**

問11.過去1年間の次の消費項目への支出金額は、その前の1年間に比べて増えましたか、減りましたか。それぞれ最も近いものを選び印をお付けください( は一つずつ)。また、増減があった場合、その最大の理由を下記の選択肢から選び番号を記入してください。

	大きく 増えた	やや 増えた	変わら ない	やや 減った	大きく 減った	変化の最大理由 (番号一つ記入)
食料品	1	2	3	4	5	
衣料品	1	2	3	4	5	
住宅関連費	1	2	3	4	5	
子供の教育費	1	2	3	4	5	
医療費	1	2	3	4	5	
情報通信費	1	2	3	4	5	
耐久消費財購入費	1	2	3	4	5	
娯楽・自己研鑽など	1	2	3	4	5	
消費支出全体	1	2	3	4	5	

【選択項目】(下記項目の中から、～それぞれについて選び回答欄に記入)

- |            |   |
|------------|---|
| 1. 所得が増えた  | 5. ほしいと思う新商品(サービス)が現れた                  |
| 2. 所得が減った  | 6. ライフステージ・生活環境が変わった<br>(結婚、子供の状況、転居など) |
| 3. 価格が下がった | 7. その他の理由                               |
| 4. 価格が上がった |   |

問12.あなたにとって関心が高い商品(サービス)を購入する場合、計画的に購入されることが多いですか。それとも衝動的に購入されることが多いですか。(○は1つ)

- |                           |                |
|---------------------------|----------------|
| 1. ほとんど計画的に購入する           | 4. 衝動買いが多い     |
| 2. 計画的に購入することが多い          | 5. ほとんど衝動買いである |
| 3. 計画的購入と衝動買いがだいたい同じ程度にある | 6. わからない       |

問13.あなたにとって関心が高い商品（サービス）を購入する場合、他の分野への出費を抑えていますか。当てはまるもの一つを選び 印をお付け下さい。（○は1つ）

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. 計画的購入であり、予算があらかじめ決まっているので抑えていない    |
| 2. 衝動買いが多く、他の分野の出費を抑える結果になっている        |
| 3. 他の分野への支出を抑えているが全体として予算オーバーになる場合が多い |
| 4. 他の分野への支出を抑えるようなことはしない              |
| 5. わからない                              |

問14.家計の手取り収入の使い道を、次の4つに分けるとすれば、過去1年間はそれぞれのどれだけの割合になりますか。合計が100%になるように回答してください。

- |                                   |          |
|-----------------------------------|----------|
| (1) 住宅ローン返済、個人の保険料支払い（社会保険を除く）    | ( ) %ぐらい |
| (2) 貯蓄（預貯金・証券投資・タンス預金など）          | ( ) %ぐらい |
| (3) 日常的な生活費の支出（基礎的な衣食住、教育費、医療費）   | ( ) %ぐらい |
| (4) 上記(3)以外の選択的支出（レジャー、趣味、自己研鑽など） | ( ) %ぐらい |

合 計 100 %

問15.住宅ローンの支払い、光熱費の基本料、義務教育費など半強制的な支払いを除いた残りの手取り収入から、「貯蓄額、日常的な生活費、レジャーやほしい耐久消費財」の3つを決めるとすると、～の順番はどうなりますか。順番を番号で記入してください。

1位       2位       3位

問16.ご自身や家計にとって自由になるお金を使う計画で、最も重視することは何ですか。当てはまるもの一つを選び 印をお付け下さい。（○は1つ）

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 将来に向けた貯蓄額の確保     | 3. 自由になるお金のうち、貯蓄に回す割合 |
| 2. レジャーなど選択的な支出額の確保 | 4. どれにも当てはまらない        |

問17.あなたの家計では、1回当たり10万円以上になる支出を全て合計した金額は、年間の支出金額のうち、どの程度の割合を占めますか。支払いには家賃も含まれます。（○は1つ）

- |          |           |           |           |          |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 10%未満 | 2. 10～30% | 3. 31～50% | 4. 51～70% | 5. 71%以上 |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|

問18.あなたの家計では、1回当たり1万円以上になる支出を全て合計した金額は、年間の支出金額のうち、どの程度の割合を占めますか。支払いには家賃も含まれます。（○は1つ）

- |          |           |           |           |          |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| 1. 10%未満 | 2. 10～30% | 3. 31～50% | 4. 51～70% | 5. 71%以上 |
|----------|-----------|-----------|-----------|----------|

問19.あなたの生活実感についておたずねします。現在はデフレと言われますが、物価は（あなたの家計が購入する商品やサービスに関して）1年前と比べてどの程度下がっているとお感じになりますか。当てはまるもの一つを選び 印をお付け下さい。（○は1つ）

- |                |                 |                  |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1. 10%以上下がっている | 4. ほとんど変わっていない  | 7. 逆に10%以上上がっている |
| 2. 5%前後下がっている  | 5. 逆に2～3%上がっている | いる               |
| 3. 2～3%下がっている  | 6. 逆に5%前後上がっている |                  |

問20.家計全体の手取り収入と物価は、実感として1年前の水準と比べて次のうちどれに近いですか。当てはまるもの一つを選び 印をお付け下さい。（○は1つ）

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 物価も収入も下がっている      | 6. 物価は横這いで、収入は上がっている |
| 2. 物価は下がり、収入は横這いである  | 7. 物価は上がり、収入は下がっている  |
| 3. 物価は下がり、収入は上がっている  | 8. 物価は上がり、収入は横這いである  |
| 4. 物価は横這いで、収入は下がっている | 9. 物価も収入も上がっている      |
| 5. 物価も収入も横這いである      |                      |

問20-1. (問20で1or9と答えた方におうかがいします。)

物価と収入の下がり方(上がり方)はどちらが大きいですか。(○は1つ)

1. 物価	2. 収入
-------	-------

問21.デフレと言われる現象について、あなたが思うことは次のうちどれに近いですか。当てはまるもの一つを選び 印をお付け下さい。(○は1つ)

- |  |
|--|
| 1. 物価が下がるのはありがたい。日本の物価はまだまだ高すぎるから            |
| 2. 物価が下がるのは良いが、企業経営が悪化すれば、収入も減ってしまうので良し悪しである |
| 3. 収入の減少や雇用不安につながるので困った現象である                 |
| 4. その他(上記のどれでもない、何とも言えない、わからない、等々)           |

問22.次の消費項目の中で、あなたが不満に思っている分野を選び<不満分野 1~15>欄の番号に○印をお付け下さい。また、不満の理由に「商品(サービス)が画一的で選択の幅が狭い」が挙げられるものを選び<不満理由 1~15>欄の番号に○印をお付け下さい。

(それぞれ はいくつでも)	不満 分野	不満 理由	(それぞれ はいくつでも)	不満 分野	不満 理由
(1) 食料品	1	1	(9) AV・パソコン・デジカメ	9	9
(2) 外食	2	2	(10) 自動車	10	10
(3) 普段着・通勤着	3	3	(11) 医療サービス	11	11
(4) よそ行き着	4	4	(12) 子供の学校教育	12	12
(5) レジャー施設	5	5	(13) 子供の習い事	13	13
(6) 国内旅行	6	6	(14) 自己啓発のためのサービス	14	14
(7) 海外旅行	7	7	(15) ベビーシッター・家事代行サービス	15	15
(8) 家事用家電製品	8	8			

**現在、預貯金などの金融資産をお持ちの方におうかがいします。**

問23.これまで貯蓄をしてこられた目的は何ですか。当てはまるもの全てに 印をお付け下さい。( はいくつでも)

また、動機の強い順に1位~3位まで順位をつけてください。(1位のみ、2位まででも可)

- |                  |              |                  |
|------------------|--------------|------------------|
| 1. 将来、欲しい商品を買うため | 4. 事故や病気に備えて | 7. 子孫に残すため       |
| 2. 住宅購入の頭金にする    | 5. 万一の失業に備えて | 8. 今は買いたいものがないから |
| 3. 老後の生活費        | 6. 子供の教育資金   | 9. 何となく          |

1位

2位

3位

問24.将来にかけて、貯蓄残高を増やそうとお考えの方におうかがいします。その目的は何ですか。当てはまるもの全てに 印をお付け下さい。( はいくつでも)また、動機の強い順に1位~3位まで順位をつけてください。(1位のみ、2位まででも可)

- |                  |              |                  |
|------------------|--------------|------------------|
| 1. 将来、欲しい商品を買うため | 4. 事故や病気に備えて | 7. 子孫に残すため       |
| 2. 住宅購入の頭金にする    | 5. 万一の失業に備えて | 8. 今は買いたいものがないから |
| 3. 老後の生活費        | 6. 子供の教育資金   | 9. 何となく          |

1位

2位

3位

・環境変化に対する消費の反応

以下、所得変化、及び価格変化に対する消費量の変化についてお尋ねします。ともに将来と過去の変化に対して、今日明日(近未来)の消費をどう変化させるか、予想でお答えください。

問25. あなた、もしくはあなたの家計で次の商品（サービス）の購入を考えているうちに、購入対象商品の価格がまもなく10%程度値上がりすることがわかったと仮定します。そのとき、あなたの家計ではどのような行動をとることが多いと思いますか。それぞれ近いものを1つずつ選んでください。

	回答欄
米	
ほうれん草	
食料品すべて	
パソコン	
乗用車	

	回答欄
分譲住宅	
海外旅行	
子供の習い事	
支出全体（平均）として	

1. 値上がりする前に購入を前倒しすることを考える。しかし、購入量や購入対象のグレードを変えることは考えないと思う
2. 値上がり後に、計画通り購入するだろう。その際、支出額が予定よりも増えるので、他の商品にしわ寄せがくるかもしれない
3. 値上がり後に、計画通り購入するだろう。その際、支出額が予定よりも増えるが、他の商品にしわ寄せが及ぶことはないと思う
4. 値上がり後に購入するが、購入量を減らしたり、購入対象のグレードを下げたりするだろう
5. 購入を考え直す。場合によっては購入を取りやめたり、他のもので間に合わせたりするだろう
6. 上のどれでもない、わからない

問26. 次の商品（サービス）を購入しようと考えているうちに、商品価格が実際に10%上がってしまったと仮定します。そのとき、あなた、もしくはあなたの家計ではどのような行動をとることが多いと思いますか。近いものを1つずつ選んでください。

	回答欄
米	
ほうれん草	
食料品すべて	
パソコン	
乗用車	

	回答欄
分譲住宅	
海外旅行	
子供の習い事	
支出全体（平均）として	

1. 計画通り購入する。その際、他の支出には、少ししわ寄せがくるだろう
2. 計画通り購入する。それでも、他の支出は影響を受けないだろう
3. 購入する量を減らす、または購入対象のグレードを下げると思う
4. 購入を考え直す。場合によっては購入を取りやめたり、他のもので間に合わせたりするだろう
5. 上のどれでもない、わからない

問27. あなた、もしくはあなたの家計で次の商品（サービス）の購入を考えているとします。しかし、購入計画を少し遅らせれば、10%程度価格が下がるとわかったとします。そのとき、あなた、もしくはあなたの家計ではどのような行動をとることが多いと思いますか。近いものを1つずつ選んでください。

	回答欄
米	
ほうれん草	
食料品すべて	
パソコン	
乗用車	

	回答欄
分譲住宅	
海外旅行	
子供の習い事	
支出全体（平均）として	

1. 値下がり後まで購入を遅らせる。しかし、購入する量やグレードを変えることはないだろう
2. 値下がり後まで購入を遅らせ、当初予算の範囲で、購入量を増やしたり、購入対象のグレードを上げたりする
3. 値下がり後まで購入を遅らせ、買い得なので当初予算を超えて、購入量を増やしたり、購入対象のグレードを上げたりする。その際、他の支出には、少ししわ寄せがくるだろう
4. 値下がり後まで購入を遅らせ、当初予算を超えて、購入量を増やしたり、購入対象のグレードを上げたりする。それでも、他の支出は影響を受けないだろう
5. 値下がり前に、計画通り購入する
6. 上のどれでもない、わからない

問28. 次の商品（サービス）を購入しようと検討している間に、対象商品の価格が10%値下がりしたと仮定します。そのとき、あなた、もしくはあなたの家計ではどのような行動をとることが多いと思いますか。近いものを1つずつ選んでください。

	回答欄
米	
ほうれん草	
食料品すべて	
パソコン	
乗用車	

	回答欄
分譲住宅	
海外旅行	
子供の習い事	
支出全体（平均）として	

1. 計画通り購入する。その際、他の支出は影響を受けないだろう
2. 計画通り購入する。その際、他の支出が増えるかもしれない
3. 当初予算の範囲内で、購入量を増やしたり、購入対象のグレードを上げたりする。
4. 当初予算の範囲を超えても、購入量を増やしたり、購入対象のグレードを上げたりする。その際、他の支出は少ししわ寄せを受けるかもしれない
5. 当初予算の範囲を超えても、購入量を増やしたり、購入対象のグレードを上げたりする。それでも、他の支出は影響を受けないだろう
6. 上のどれでもない、わからない

問29. 次のそれぞれの分野の商品（サービス）の価格は変わらないと仮定して、あなたの家計の手取り年間収入が今後5年間にわたって増えることになった状況を想定します。1年当たりの手取り所得がどれだけ増えると、その分野への支出を増やすと思いますか。近いものを1つずつ選んでください。

	回答欄		回答欄
食料品		情報通信費(新聞、電話、雑誌等)	
衣料品		耐久消費財	
住宅関連(光熱費、補修費)		娯楽・自己研鑽など	
子供の教育費		消費支出全体	
医療費			

1. 1～3%    3. 5%超    5. 20%超    7. 50%超  
2. 3%超    4. 10%超    6. 30%超    8. いくら収入が増えることになっても消費量を増やすことはない

問30. 次のそれぞれの分野の商品（サービス）の価格は変わらないと仮定して、あなたの家計の手取り年間収入が今後5年間にわたって減ることになった状況を想定します。1年当たりの手取り所得がどれだけ減ると、その分野への支出を減らすと思いますか。近いものを1つずつ選んでください。

	回答欄		回答欄
食料品		情報通信費(新聞、電話、雑誌等)	
衣料品		耐久消費財	
住宅関連(光熱費、補修費)		娯楽・自己研鑽など	
子供の教育費		消費支出全体	
医療費			

1. 1～3%    3. 5%超    5. 20%超    7. 50%超  
2. 3%超    4. 10%超    6. 30%超    8. いくら収入が減ることになっても消費量を減らすことはない

問31. 次のそれぞれの分野の商品（サービス）の価格は変わらないと仮定して、あなたの家計で昇給などによって、現在の手取り収入が増えたとします。どれだけ増えたとすると、各分野への支出を現時点で増やすと思いますか。近いものを1つずつ選んでください。

	回答欄		回答欄
食料品		情報通信費(新聞、電話、雑誌等)	
衣料品		耐久消費財	
住宅関連(光熱費、補修費)		娯楽・自己研鑽など	
子供の教育費		消費支出全体	
医療費			

1. 1～3%    3. 5%超    5. 20%超    7. 50%超  
2. 3%超    4. 10%超    6. 30%超    8. いくら収入が増えても支出を増やすことはない

問32. 次のそれぞれの分野の商品（サービス）の価格は変わらないと仮定して、あなたの家計で業績不振に伴う減給などによって、現在の手取り収入が減ったとします。どれだけ減ったとすると、各分野への支出を現時点で減らすと思いますか。近いものを1つずつ選んでください。

	回答欄		回答欄
食料品		情報通信費(新聞、電話、雑誌等)	
衣料品		耐久消費財	
住宅関連(光熱費、補修費)		娯楽・自己研鑽など	
子供の教育費		消費支出全体	
医療費			

1. 1～3%    3. 5%超    5. 20%超    7. 50%超  
2. 3%超    4. 10%超    6. 30%超    8. いくら収入が減っても支出を減らすことはない

問33. あなたの家計で最近、思いがけない収入があったとします。いくら収入があれば、次のそれぞれの分野の商品（サービス）に対する支出を増やしますか。それぞれの価格は変わらないと仮定します。近いものを1つずつ選んでください。

	回答欄		回答欄
食料品		耐久消費財	
衣料品		娯楽・自己研鑽など	
住宅関連（光熱費、補修費）		消費支出全体	
子供の教育費		住宅ローンの繰上げ返済	
医療費		預貯金・株式投資・その他金融商品購入	
情報通信費（新聞、電話、雑誌等）			

- |         |          |                                |
|---------|----------|--------------------------------|
| 1. 3万円  | 3. 50万円  | 5. 500万円                       |
| 2. 10万円 | 4. 100万円 | 6. いくら思いがけない収入があっても支出を増やすことはない |

問34. あなたの家計で最近、現金の紛失など思いがけない損失があったとします。どの程度の損失があれば、次のそれぞれの分野の商品（サービス）に対する支出を減らしますか。それぞれの価格は変わらないと仮定します。近いものを1つずつ選んでください。

	回答欄		回答欄
食料品		情報通信費（新聞、電話、雑誌等）	
衣料品		耐久消費財	
住宅関連（光熱費、補修費）		娯楽・自己研鑽など	
子供の教育費		消費支出全体	
医療費			

- |         |          |                          |
|---------|----------|--------------------------|
| 1. 3万円  | 3. 50万円  | 5. 500万円                 |
| 2. 10万円 | 4. 100万円 | 6. いくら損失があっても支出を減らすことはない |

問35. 現在は預金金利がほぼゼロですが、仮に預金金利が5%に上昇したとするとあなたは消費を増やしますか。商品（サービス）の価格やご自身の所得は変わらないとします。（○は1つ）

- |                                |
|--------------------------------|
| 1. 利息収入が増えることが期待できるので消費を増やすと思う |
| 2. 貯蓄した方が有利なので消費は減ると思う         |
| 3. 消費には影響しないと思う                |
| 4. わからない                       |

**問 36～39 は、持ち家をお持ちの方におうかがいします。**

問36. 自宅の資産価格が上昇した場合、あなたは消費行動をかえますか。（○は1つ）

- |           |             |          |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 消費を増やす | 2. 消費は変わらない | 3. わからない |
|-----------|-------------|----------|

問37. 自宅の資産価格が何%上昇すれば、消費を増やしますか。（○は1つ）

- |         |         |          |                     |
|---------|---------|----------|---------------------|
| 1. 10%超 | 3. 50%超 | 5. 100%超 | 7. いくら上昇しても消費を増やさない |
| 2. 30%超 | 4. 70%超 | 6. それ以上  |                     |

問38. 自宅の資産価格が下落した場合、あなたは消費行動をかえますか。（○は1つ）

- |           |             |          |
|-----------|-------------|----------|
| 1. 消費を減らす | 2. 消費は変わらない | 3. わからない |
|-----------|-------------|----------|

問39. 自宅の資産価格が何%下落すれば、消費を減らしますか。（○は1つ）

- |         |         |          |                     |
|---------|---------|----------|---------------------|
| 1. 10%超 | 3. 50%超 | 5. 100%超 | 7. いくら下落しても消費を減らさない |
| 2. 30%超 | 4. 70%超 | 6. それ以上  |                     |

**問 40～43 は、株式をお持ちの方におうかがいします。**

問40.ご自身が保有されている株の株価が上昇し、もし売れば 20万円ほどの利益が出るという場合、あなた（あなたの家計）の消費行動として、近いと思われるものを 1 つだけ選択してください。

- |                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 消費は増やさない       | 3. 10万円以上 20万円以内で消費を増やす |
| 2. 10万円程度まで消費を増やす | 4. 20万円より多く消費を増やす       |

問41.ご自身が保有されている株の株価が上昇し、もし売れば 200万円ほどの利益が出るという場合、あなた（あなたの家計）の消費行動として、近いと思われるものを 1 つだけ選択してください。

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 消費は増やさない        | 3. 100万円以上 200万円以内で消費を増やす |
| 2. 100万円程度まで消費を増やす | 4. 200万円より多く消費を増やす        |

問42.ご自身が保有されている株の株価が下落し、もし売れば 20万円ほどの損失が出るという場合、あなた（あなたの家計）の消費行動として、近いと思われるものを 1 つだけ選択してください。

- |                   |                         |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 消費は減らさない       | 3. 10万円以上 20万円以内で消費を減らす |
| 2. 10万円程度まで消費を減らす | 4. 20万円より多く消費を減らす       |

問43.ご自身が保有されている株の株価が下落し、もし売れば 200万円ほどの損失が出るという場合、あなた（あなたの家計）の消費行動として、近いと思われるものを 1 つだけ選択してください。

- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 消費は減らさない        | 3. 100万円以上 200万円以内で消費を減らす |
| 2. 100万円程度まで消費を減らす | 4. 200万円より多く消費を減らす        |

**ここから全員の方におうかがいします。**

問44.次の支出項目に対するあなたの家計の総支出をそれぞれ 100 とします。このとき、A.日常的生活費、B.余裕のある時に行う（あるいは特別な機会に行う）選択的支出、と 2 つに分けると、A.日常的生活費の割合はどの程度ですか。

また、たとえ価格が 10%高くても、貯蓄を取り崩したり、他の支出を犠牲にしたりすることによって、購入を諦めない支出の割合はどの程度とお考えですか。いずれもおおよその見当を 0%～100%でお答えください。

下の項目に支出されていない場合（例えば、子供はいないので、教育費支出なしなど）は、その項目を空欄にしてください。

	日常的な消費の割合	価格が高くても諦めない部分の割合
食料品（外食を含む）	%	%
衣料品	%	%
住宅関連費（管理費、補修、光熱費など。家賃・地代も含む）	%	%
子供の教育費（授業料、習い事など）	%	%
情報通信費（新聞、電話、携帯電話、インターネットなど）	%	%
耐久消費財購入費 （家電製品、オーディオ製品、カメラなど、自動車、住宅を除く）	%	%
娯楽・自己研鑽など （旅行、レジャー、スポーツ、ご自身の習い事、資格取得など）	%	%

・家計の金融資産と運用に関する考え方

問45.お手持ちの資産の金額をおおまかに教えて下さい。

a.金融資産

注：金融資産には、土地や家屋などの不動産は含みません。

10万円なら、10と記入して下さい。該当なしの場合は0と記入して下さい。

	金額
銀行預金・郵便貯金	万円
公社債（国債、社債など）	万円
各種保険・年金保険（公的年金・企業年金は除きます。また、掛け捨ての場合はゼロ）	万円
投資信託	万円
（うち公社債投信）	万円
（うち株式投信）	万円
株式	万円
その他（分類がわからない金融商品等）	万円

b.実物資産

注：金額は時価評価額で記入して下さい。時価の見当が全くつかない場合は「不明」、該当なしの場合は0と記入して下さい。

	金額
自己の居住用の土地・家屋	万円
自己の居住用でない不動産	万円
貴金属・宝石類・美術品など	万円

問46.現在、老後の生活設計を意識して計画的に資産形成を行っていますか。（○は1つ）

1. 行っている	2. どちらともいえない	3. 行っていない
----------	--------------	-----------

問47.現在、不意の出費に備えて定期的に貯蓄をしていますか。（○は1つ）

1. 行っている	2. どちらともいえない	3. 行っていない
----------	--------------	-----------

問48.貯蓄や資産形成において最も重視する要因は何ですか。（○は1つ）

1. 安全性	3. 値上りの可能性	5. 処分のしやすさ
2. 利回り	4. 手軽に購入できる	

問49.貯蓄や資産形成において最も優先度の低い要因は何ですか。（○は1つ）

1. 安全性	3. 値上りの可能性	5. 処分のしやすさ
2. 利回り	4. 手軽に購入できる	

問50.子孫に遺産を残すことは、貯蓄や資産形成の大きな目的のひとつですか。（○は1つ）

1. はい	3. どちらともいえない	4. あまりそういう面はない
2. そういう面もある	5. いいえ	

問51.将来、住宅の購入を計画していますか。（○は1つ）

注：新規、買い替え、のどちらも含みます。

1. 10年以内に	3. 30年以内に
2. 20年以内に	4. 今のところ計画していない

問 51-a . (現に住宅を所有されている方におうかがいします。)

住宅の値上り・値下りで貯蓄計画は変わりますか。（○は1つ）

1. はい	2. わからない	3. いいえ
-------	----------	--------

問 51-b . (問 51-a で「1.はい」と答えた方におうかがいします。)

貯蓄計画が変わるとしたら、以下のうちのどのパターンですか。(○は2つまで)

- |                 |          |                   |
|-----------------|----------|-------------------|
| 1. 貯蓄額を全体として増やす | 3. わからない | 4. 安全な金融商品の比率を増やす |
| 2. 貯蓄額を全体として減らす |          | 5. 安全な金融商品の比率を減らす |

問52.現在、御自分の家計の収入は安定していると思いますか。(○は1つ)

- |               |              |               |
|---------------|--------------|---------------|
| 1. 安定している     | 3. どちらともいえない | 4. あまり安定していない |
| 2. まあまあ安定している |              | 5. 不安定である     |

問53.将来、御自分の家計の収入はどうかと考えていますか。(○は1つ)

- |            |          |                |
|------------|----------|----------------|
| 1. 大いに安定する | 3. わからない | 4. やや変動しやすくなる  |
| 2. やや安定する  |          | 5. 大きく変動しやすくなる |

問54.御自分の手取り収入の急減を心配していますか。理由は何ですか(○はいくつでも)

- |                |                 |                            |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| 1. 心配していない     | 4. 自己の売上や仕事量が減る | 7. 増税                      |
| 2. リストラなど雇用が不安 | 5. 病気・ケガ        | 8. 年金改革(支給開始年齢引上げや支給額引き下げ) |
| 3. 賃下げ・ボーナス減   | 6. 地震・災害        |                            |

問55.収入の急減に備えて定期的に貯蓄をしていますか。(○は1つ)

- |       |              |        |
|-------|--------------|--------|
| 1. はい | 2. どちらともいえない | 3. いいえ |
|-------|--------------|--------|

問56.金融商品を購入するとしたら、安全性を犠牲にしても利回りの高さや値上り益を迫及したいと思いますか。(○は1つ)

- |            |              |               |
|------------|--------------|---------------|
| 1. 大いにそう思う | 3. どちらともいえない | 4. あまりそうは思わない |
| 2. 多少はそう思う |              | 5. 全くそうは思わない  |

問 56-a(問 56 で「1or2 そう思う」と答えた方におうかがいします。)

実際に安全性よりも利回りの高さや値上り益を重視して金融商品へ投資していますか。(○は1つ)

- |       |              |        |
|-------|--------------|--------|
| 1. はい | 2. どちらともいえない | 3. いいえ |
|-------|--------------|--------|

問 56-b(問 56-a で「3.いいえ」と答えた方におうかがいします。)

何が最も障害になっていますか。(○は1つ)

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1. 収入にあまり余裕がないから | 3. 情報が手に入りにくいから |
| 2. 適当な商品がないから    | 4. その他(具体的に: )  |

問57.貯蓄するに当たって、貯めたお金が長い目で見ると増えることを期待したいですか。

(○は1つ)

- |             |              |               |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 大いに期待したい | 3. どちらともいえない | 4. あまり期待していない |
| 2. 多少は期待したい |              | 5. 全く期待していない  |

問58.株式投資一般について、どのような印象を持っていますか。(○は1つ)

- |  |
|--|
| 1. 短期的な値上り・値下りは激しいが、長い目で見れば値上りが見込めると思う   |
| 2. 短期的な値上り・値下りが激しいうえ、長い目で見ても値上りは見込めそうにない |
| 3. わからない                                 |

問59.株式投資に興味はありますか。(○は1つ)

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1. 大いに興味がある | 3. どちらともいえない | 4. あまり興味がない |
| 2. 多少興味がある  |              | 5. 全く興味がない  |

問 59-a(問 59 で「1or2 興味がある」と答えた方におうかがいします。)

株式投資に期待する理由は次のうちどれに近いですか。(○はいくつでも)

- |                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 1. 短期間(1年未満)の値上り益   | 4. 多様な銘柄の中から自由に選択できる |
| 2. 長い目(1年以上)で見た値上り益 | 5. その他の理由(具体的に: )    |
| 3. 配当               |                      |

問 59-b(問 59 で「4or5 興味がない」と答えた方におうかがいします。)

理由は次のうちどれに近いですか。(○はいくつでも)

- |                         |                  |
|-------------------------|------------------|
| 1. 収入にあまり余裕がないから        | 4. 値上りする見込みが薄いから |
| 2. 手数料など取引の仕組みがわかりづらいから | 5. ギャンブル的要素が強いから |
| 3. どういう場合に値上りするのかよく分らない | 6. なんとなく         |

問60. 貴金属・ダイヤ等を金融商品と比較してどう思いますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(○は1つ)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1. 貴金属・ダイヤ等は貯蓄の手段とは思わないので比較できない |
| 2. 金融商品に比べて処分しにくい               |
| 3. 金融商品に比べて値動きが激しい              |
| 4. 金融商品よりも値上り益が見込める             |
| 5. わからない                        |

問61. 不動産を金融商品と比較してどう思いますか。(○はいくつでも)

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 不動産は貯蓄の手段とは思わないので比較できない |
| 2. 金融商品に比べて処分しにくい          |
| 3. 金融商品に比べて値動きが激しい         |
| 4. 金融商品に比べれば値上り益が見込める      |
| 5. わからない                   |

問62. 円ドルレートについてお尋ねします。円は長い目(1年以上先)で見てどうなると思いますか。(○は1つ)

- |           |                               |
|-----------|-------------------------------|
| 1. 円高だと思う | 3. 上下するが、長い目で見れば今とあまり変わらないと思う |
| 2. 円安だと思う | 4. わからない                      |

問63. 貯蓄や資産形成目的の商品として、外貨預金や外貨建て公社債、外国株式に興味がありますか。(○は1つ)

- |             |              |             |
|-------------|--------------|-------------|
| 1. 大いに興味がある | 3. どちらともいえない | 4. あまり興味がない |
| 2. 多少興味がある  |              | 5. 全く興味がない  |

問 63-a(問 63 で「4or5 興味はない」と答えた方におうかがいします。)

理由は次のどれに近いですか。(○はいくつでも)

- |                                  |
|----------------------------------|
| 1. 資金にあまり余裕がない                   |
| 2. 手数料など商品の仕組みがわかりにくい            |
| 3. 円相場の値動きが大きいいため、ギャンブル性が高い      |
| 4. 長い目で見て円高になりそうなので、資産価値が目減りしそうだ |
| 5. 手数料が高い                        |
| 6. その他(具体的に: )                   |

最後にあなたご自身やご家族についておうかがいします

F 1. あなたの年齢は。( は1つ)

- |           |           |           |           |            |
|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 1. 20～24歳 | 3. 30～34歳 | 5. 40～44歳 | 7. 50～54歳 | 9. 60～64歳  |
| 2. 25～29歳 | 4. 35～39歳 | 6. 45～49歳 | 8. 55～59歳 | 10. 65～69歳 |

F 2.同居されているご家族についておうかがいします。ご家族のどなたかは、いわゆる「団塊の世代」(昭和22年～24年生まれ、西暦では1947年～1949年生まれ)に属していますか。(○は1つ)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1. ご自身だけが団塊世代     | 5. お母様だけが団塊世代     |
| 2. 配偶者の方だけが団塊世代   | 6. お父様お母様の両方が団塊世代 |
| 3. ご自身も配偶者の方も団塊世代 | 7. 上のどれでもない       |
| 4. お父様だけが団塊世代     |                   |

F 3.同居されているご家族についておうかがいします。ご家族のどなたかは、いわゆる「団塊ジュニア」(昭和46年～49年生まれ、西暦では1971年～1974年生まれ)に属していますか。(○は1つ)

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| 1. ご自身だけが団塊ジュニア     | 4. お子様のうち少なくとも1人が団塊ジュニア |
| 2. 配偶者の方だけが団塊ジュニア   | 5. 上のどれでもない             |
| 3. ご自身も配偶者の方も団塊ジュニア |                         |

F 4.性別は。( は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 5.ナレッジワーカー(知的労働者)という言葉がありますが、あなたはご自身で、その分類に含まれると思いますか。( は1つ)

- |            |              |          |
|------------|--------------|----------|
| 1. 含まれると思う | 2. 含まれると思わない | 3. わからない |
|------------|--------------|----------|

F 6.あなたの世帯のご職業は以下のうちどれにあたりますか。( は1つ)

- |         |        |        |
|---------|--------|--------|
| 1. 専業農家 | 3. 勤労者 | 5. その他 |
| 2. 兼業農家 | 4. 自営業 | 6. 無職  |

F 7.あなたの世帯ではどなたが就労されていますか。(○は1つ)

- |          |            |        |
|----------|------------|--------|
| 1. ご自身だけ | 3. あなたと配偶者 | 5. その他 |
| 2. 配偶者だけ | 4. 3人以上就労  |        |

F 8.ご結婚されていますか。( は1つ)

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. 未婚 | 2. 既婚 |
|-------|-------|

F 9.お子様はいらっしゃいますか。( は1つ)

- |            |
|------------|
| 1. いる ( )人 |
| 2. いない     |

F 10. 現在同居しているご家族は、あなたを含めて、何人ですか。(数字記入)

人

F 11. 家計の年収合計（税込み）は次のうちどれにあてはまりますか（ は1つ）

- |                |                 |                  |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1. 300万円未満     | 4. 550～750万円未満  | 7. 1200～1500万円未満 |
| 2. 300～400万円未満 | 5. 750～950万円未満  | 8. 1500～2000万円未満 |
| 3. 400～550万円未満 | 6. 950～1200万円未満 | 9. 2000万円以上      |

F 12. F 11 の回答のうち、所得税・住民税や社会保険料を引いた可処分所得はどのぐらいですか。（ は1つ）

- |                |                 |                  |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1. 300万円未満     | 4. 550～750万円未満  | 7. 1200～1500万円未満 |
| 2. 300～400万円未満 | 5. 750～950万円未満  | 8. 1500～2000万円未満 |
| 3. 400～550万円未満 | 6. 950～1200万円未満 | 9. 2000万円以上      |

F 13. あなたご自身の年収合計（税込み）は次のうちどれにあてはまりますか（ は1つ）

- |                |                 |                  |
|----------------|-----------------|------------------|
| 1. 300万円未満     | 4. 550～750万円未満  | 7. 1200～1500万円未満 |
| 2. 300～400万円未満 | 5. 750～950万円未満  | 8. 1500～2000万円未満 |
| 3. 400～550万円未満 | 6. 950～1200万円未満 | 9. 2000万円以上      |

F 14. ご自宅は次のどれに該当しますか。（○は1つ）

- |              |             |            |
|--------------|-------------|------------|
| 1. 持ち家（一戸建て） | 3. 借家       | 5. 親の借家に同居 |
| 2. 持ち家（分譲住宅） | 4. 親の持ち家に同居 |            |

F 15. 家計で住宅ローンを抱えていらっしゃる方におうかがいします。住宅ローンの状況は以下のどれに該当しますか。（○は1つ）

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 住宅ローンは完済した（もともとない）   | 4. ローンの残高は現在の年収の2倍～3倍程度 |
| 2. ローンの残高は現在の年収以内       | 5. ローンの残高は現在の年収の3倍超     |
| 3. ローンの残高は現在の年収の1倍～2倍程度 |                         |

F 16. 居住用以外の不動産（土地、賃貸用マンションなど）をお持ちですか。（○は1つ）

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
|----------|-----------|

F 17. 家計の消費や貯蓄を決めるにあたって、ご自身の立場は次のどれに近いですか。（○は1つ）

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 大まかにはほとんどご自身で決める           |
| 2. ほとんど配偶者に任せている              |
| 3. 相談して決めることが多い               |
| 4. 上のどれでもない、あるいはケース・バイ・ケースである |

---

以上でアンケートは終了です  
長時間ご協力いただき誠にありがとうございます。

---